

事項	<p>水稻のイネカラバエに対するフィプロニル粒剤（プリンス粒剤）による防除法</p>	
ねらい	<p>本剤のイネカラバエに対する防除剤は効果が不十分な茎葉散布剤しかなかったが、箱施用剤が登録され、既登録剤より効果が認められたので普及に移す。</p>	
指導参考内容	<p>1 フィプロニル粒剤の使用方法  (1) 処理方法：50 g を育苗箱(苗)の上から均一に散布する  (2) 処理量：50 g / 育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 ℓ)  (3) 処理時期：移植当日</p> <p>2 フィプロニル粒剤の登録内容  (1) 薬剤名  ア 一般名：フィプロニル粒剤  イ 商品名：プリンス粒剤  ウ 有効成分：フィプロニル 1.0%  エ 作用性：食毒  オ 人畜毒性：普通物  カ 魚毒性：C類</p> <p>(2) 使用基準  ア 適用害虫：水稻のイネカラバエ  イ 使用量：育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌約 5 ℓ)  1 箱当たり 50 g  ウ 使用方法：育苗箱の上から均一に散布する  エ 使用時期：移植当日  オ 使用回数：1 回  カ 成分総使用回数：1 回</p>	
期待される効果	<p>イネカラバエ常発地での使用により水稻の安定生産・品質向上が期待される。</p>	
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成20年3月1日現在の農薬登録に基づいて作成した。  2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(<a href="http://www.maff.go.jp/nouyaku/">http://www.maff.go.jp/nouyaku/</a>)を確認すること。  3 イネカラバエに対する防除効果は必ずしも十分ではなく、被害を半量程度に抑えるに過ぎないので、本種単独防除には用いない。  4 多肥栽培で田植えから出穂からの期間が長引いたり、出穂が揃わない場合には、効果が不十分となる場合があるので、地帯別施肥基準を遵守する。</p>	
担当部署 (担当者名)	<p>青森県農林総合研究センター 病害虫防除室 (市田忠夫)</p>	<p>対象地域 県下全域</p>
発表文献等	<p>平成17～19年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集  平成17～19年度 日本植物防疫協会 新農薬実用化試験成績</p>	

【根拠となった主要な試験結果】

表1 イネカラバエに対するプリンス粒剤の防除効果

(平成17年 青森農林総研)

供試薬剤	最盛期(7/14)産卵状況		調査穂数		被害率		対無処理比		葉害
	産卵株率	25株卵粒数	5株計	5株×5	株率	穂率	株率	穂率	
プリンス粒剤	72	33	97.3	486.7	93.3	14.7	103	113	—
ジメエート粒剤	52	25	110.3	551.7	20.0	1.0	22	8	—
無処理	54	24.5	93.8	468.8	91.0	13.0	100	100	

(注)試験場所:蓬田村郷沢、品種:ゆめあかり、移植月日:5月23日

供試薬剤	最盛期(7/15)産卵状況		調査穂数		被害率		対無処理比		葉害
	産卵株率	25株卵粒数	5株計	5株×5	株率	穂率	株率	穂率	
プリンス粒剤	96	40	91.0	455.0	72.0	7.9	81	54	—
無処理	92	43	95.3	476.7	89.3	14.5	100	100	

(注)試験場所:西目屋村大秋、品種:ゆめあかり、移植月日:5月28日

表2 イネカラバエに対するプリンス粒剤の防除効果

(平成18年 青森農林総研)

供試薬剤	最盛期(7/19)産卵状況		調査穂数		被害率		対無処理比		葉害
	産卵株率	25株卵粒数	5株計	5株×8	株率	穂率	株率	穂率	
プリンス粒剤	4.0	2.0	102.7	821.3	20.8	1.2	42	39	—
バイジット乳剤	10.0	2.5	101.0	808.0	28.3	1.9	58	61	—
無処理	12.0	3.0	109.0	872.0	49.2	3.1	100	100	

(注)試験場所:蓬田村阿弥陀川、品種:ゆめあかり、移植月日:5月21日

供試薬剤	最盛期(7/14)産卵状況		調査穂数		被害率		対無処理比		葉害
	産卵株率	25株卵粒数	5株計	5株×5	株率	穂率	株率	穂率	
プリンス粒剤	56.0	17.5	95.0	475.0	65.3	5.1	67	41	—
バイジット乳剤	66.0	24.0	99.0	563.3	77.3	9.0	79	73	—
無処理	62.0	21.0	103.0	515.0	97.3	12.4	100	100	

(注)試験場所:西目屋村大秋、品種:ゆめあかり、移植月日:5月21日

表3 イネカラバエに対するプリンス粒剤の防除効果

(平成19年 青森農林総研)

供試薬剤	調査穂数		被害率		対無処理比		葉害
	5株計	5株×5	株率	穂率	株率	穂率	
プリンス粒剤	92.3	461.3	11.0	0.7	39	46	—
無処理	113.3	566.3	28.0	1.4	100	100	

(注)試験場所:蓬田村阿弥陀川、品種:まっしぐら、移植月日:5月17日

供試薬剤	調査穂数		被害率		対無処理比		葉害
	5株計	5株×5	株率	穂率	株率	穂率	
プリンス粒剤	105.0	525.0	61.3	4.4	100	108	—
無処理	110.3	551.7	61.3	4.1	100	100	

(注)試験場所:西目屋村大秋、品種:まっしぐら、移植月日:5月23日

(参考) プリンス粒剤:1袋(1kg)約2,200円 約3,850円/10a(中苗移植)